

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2005-134462 (P2005-134462A)

【公開日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【年通号数】公開・登録公報 2005-020

【出願番号】特願 2003-367501 (P2003-367501)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 G 3/30

G 0 9 G 3/20

H 0 5 B 33/14

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 1 2 R

G 0 9 G 3/20 6 1 2 U

G 0 9 G 3/20 6 2 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 9 日 (2005.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保持キャパシタ、駆動トランジスタ、電気光学素子を有した画素に対してデータ電流を供給し、そのデータ電流の値に応じて駆動トランジスタから供給される駆動電流に基づいて電気光学素子が駆動される電気光学装置の駆動方法において、

入力した階調データに関係なく予め定められた一定の値のデータ電流を前記画素に供給して前記電気光学素子を駆動させるステップと、

前記階調データに基づいて前記電気光学素子の駆動期間を調整するステップとを設けたことを特徴とする電気光学装置の駆動方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電気光学装置の駆動方法において、

前記予め定められた一定の値のデータ電流は、最も高い階調データの値に相当するデータ電流の電流値であることを特徴とする電気光学装置の駆動方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の電気光学装置の駆動方法において、

前記電気光学素子の駆動期間の調整は、前記駆動トランジスタをオフ状態にするために電圧信号を前記保持キャパシタに供給するタイミングを調整することを特徴とする電気光学装置の駆動方法。

【請求項 4】

電気光学装置において、

保持キャパシタ、駆動トランジスタ、電気光学素子を備え、データ電流の値に応じて前記駆動トランジスタから供給される駆動電流に基づいて前記電気光学素子が駆動される画素と、

入力した階調データに関係なく予め定めた一定の値の前記データ電流を生成するデータ電流生成回路と、

前記電気光学素子の駆動を停止させるための駆動停止信号を生成する駆動停止信号生成回路と、

前記データ電流生成回路から前記データ電流を前記画素に供給させるとともに、前記駆動トランジスタからの駆動電流によって駆動される電気光学素子の駆動期間を前記階調データに基づいて演算し、その駆動期間に基づいて駆動停止信号生成回路から駆動停止信号を前記画素に供給させる制御回路と

を備えたことを特徴とする電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の電気光学装置において、

前記データ電流生成回路が生成するデータ電流は、最も高い階調データの値に相当するデータ電流の電流値であることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の電気光学装置において、

前記駆動停止信号生成回路が生成する駆動停止信号は、前記駆動トランジスタをオフ状態にするために前記保持キャパシタに供給する電圧信号であることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 7】

請求項 4 に記載の電気光学装置において、

前記電気光学素子は、有機エレクトロルミネッセンス素子であることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 8】

請求項 4 乃至 7 に記載の電気光学装置を具備したことを特徴とする電子機器。